

大 连 理 工 大 学

第 1 页

二〇〇二 年硕士生入学考试

专业日语

试题

共 15 页

I. 文字と語彙 (21 点)

一、下の文の _____ のある漢字の読み方、または文の _____ に入れる外来語はそれぞれ選択肢 A、B、C、Dの中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(7 点)

1. 吹雪のため交通が絶えた。
A. すいせつ B. ふきせつ C. ふゆき D. ふぶき
2. 軽率な言動をつつしむ。
A. かせつ B. かそつ C. けいせつ D. けいそつ
3. 雨戸がガタガタ揺れる。
A. あめど B. うと C. あまど D. うこ
4. 岬の向こうに島が見える。
A. ひだり B. かがみ C. はさみ D. みさき
5. 答案を添削してもらう。
A. ていさく B. てんさく C. ていさい D. てんさい
6. 川の流れが緩やかになる。
A. おだ B. ゆる C. すみ D. にぎ
7. 街を浄化する。
A. せいか B. しょうか C. せいが D. じょうか
8. 白髪がめっきりふえた。
A. しろがみ B. しらがみ C. しらが D. しろが
9. 弱点を克服する。
A. くつぶく B. くふく C. こつぶく D. こくふく
10. ロボットを操る。
A. や B. す C. たすか D. あやつ

11. 残高を次のページに繰り越す。

- A. のこりだか B. ざんこう C. ざんだか D. のこりこう

12. 父は大金を携えて出かけた。

- A. たずさ B. かか C. そろ D. もら

13. 旅行するお金がなくて、 をしようと思います。

- A. サークル B. アルバイト C. アンテナ D. アルバム

14. 「スミスさん、 なんですって」

「ああ、だから休んだんだね」

- A. インスタント B. インタネート
C. インフルエンザ D. サイン

二、 下の文の下線をつけた言葉の二重線のある部分は、どのような漢字を書くか、答えは選択肢 A、B、C、Dの中から同じ漢字が使われるものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(7点)

15. オリンピックは、四年に一度かいさいされます。

- A. 夏休みは、おじの別荘でかいてきに過ごした。
B. 診察のあとかいけいの窓口へ行って料金を支払った。
C. 新トンネルのかいつうを祝って、記念式典が行われた。
D. 友達と話しながらかいがんを散歩した。

16. とうざいに走る道路ができて、この島は交通の便がよくなった。

- A. 新聞のとうしょ欄に、わたしの意見が載った。
B. 旅先でとうなんに遭い、至急家からお金を送ってもらった。
C. 大雪で列車のとうちゃくが遅れている。
D. とうようの文化を理解する欧米人が多い。

17. 父が心臓麻痺で倒れたが、おうきゅう処置が良かったので死なずにすんだ。

- A. 大きい道路には事故防止のためにちゅうおう分離帯がある。
B. エジプトの遺跡の中から、おうごんの像が発見された。
C. 学校生活にてきおうできなくて、子供が登校拒否をする。
D. 彼は一人っ子なのでおうさまのように振る舞う。

18. コンピューターの一般家庭へのふきゅうが加速している。

- A. この映画館の座席は太っている人には少しきゅうくつだ。
B. 洪水で流された家の屋根できゅうえんを待っている人が3人いる。

- C. 部長から営業成績が振わない原因を厳しくついさゆうされた。
D. きんきゆうの場合、このベルを押してください。

19. 写真のフィルムのげんぞう代が非常に安くなった。
A. げんろんの自由が保障されているのは素晴らしいことです。
B. 日本は天然しげんが乏しいので海外から輸入している。
C. いくらがんばると言っても、体力にはげんかいがある。
D. 社会に出た若者は理想とげんじつの大きな違いに悩む。

20. 映画の主人公にきょうかんを覚えた。
A. あの人は誰かにきょうはくされているらしい。
B. 高校時代にきょうせい的に勉強させられた記憶がある。
C. 私の職業の選択には親のえいきょうがかなりあった。
D. 世界の全ての国々の協調と平和きょうぞんが叫ばれている。

21. 大統領はせんようの飛行機で空港に到着した。
A. 大学でのせんこうは国際経済学です。
B. 通訳の募集に応募したが、書類せんこうで落とされてしまった。
C. 中国や韓国はせんい製品の輸出が盛んです。
D. 大気おせんは世界的に深刻な問題になっている。

三、下の文の()に入れる言葉は選択肢 A、B、C、Dの中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(7点)

22. 今日はなんだか()がすぐれない。
A. 気味 B. 気持ち C. 気分 D. 気色
23. 水死体の()がまだ判明しない。
A. 出身 B. 身元 C. 身の上 D. 生まれ
24. 彼は失敗すると首を()癖がある。
A. すくめる B. すすめる C. もたげる D. とがらせる
25. 会社の将来について、長時間腰を()話しあった。
A. 折って B. 抜かして C. すえて D. 入れて

26. いろいろ治療してみたが（ ）だめでした。
A. やっと B. ようやく C. おわりに D. とうとう
27. 昨日徹夜で仕事をしたので今日はちっとも頭が（ ）。
A. 労働しない B. 働かない C. 勤務しない D. 勤めない
28. どんな親でも自分の子どもというものは（ ）たまらないらしい。
A. かわいくて B. かわいらしくて C. 愛らしくて D. 愛くるしくて
29. 30年ぶりに会ったんだ。今後はゆっくり思い出を（ ）。
A. 話し合おう B. 語り合おう C. 言い合おう D. シャベリ合おう
30. まだ仕事がたくさん残っている。早く帰って家で好きなテレビを見るのは（ ）なくてはならないようだ。
A. あきらめ B. 断念し C. 思い切ら D. やめ
31. この植物は（ ）の温暖な土地でなければ育ちません。
A. 気温 B. 天気 C. 天候 D. 気候
32. お風呂に水を入れているのをわすれて、水が（ ）しまった。
A. もれて B. こぼれて C. あふれて D. しみて
33. 日本では四季（ ）の料理がある。
A. ときおり B. おりふし C. おりおり D. ときどき
34. いまそれを彼女に知らせることは、彼女の命を（ ）ことになると思う。
A. 短縮する B. 縮少する C. ちぢめる D. 終わらせる
35. 試合の途中で雨が降り、一時間ほど試合が（ ）した。
A. 延期 B. 休止 C. 中止 D. 中断

Ⅱ. 文法と構文 (25 点)

下の文の _____ に入れる言葉は選択肢 A、B、C、D の中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。

36. この地方____晴れた日が多いのは1月と2月である。
A.で B.に C.が D.から
37. 連絡には誰____行かせたらいいですか。
A.と B.へ C.を D.が
38. 昨日、ぼくは父____庭の芝刈をさせられて、つかれてしまった。
A.の B.に C.へ D.が
39. 誕生日のお祝いに花____どうでしょう。
A.か B.なんて C.ばかり D.だの
40. 信号が赤に変わる____急いでわたってしまいましょう。
A.まで B.までに C.やら D.とか
41. あの人はまだ行く____行かないだのと言っています。
A.か B.とか C.きり D.だの
42. 自転車で行くよりタクシーで行った方が必ずしも早いという____ではない。
A.はず B.わけ C.もの D.ところ
43. ほしい____、高いから、とても買えません。
A.けれども B.から C.ながら D.ので
44. 取りはし____、ちょっと見せてください。
A.ませんか B.ませんので C.なくて D.たいから
45. 山田さんは____田舎人らしい格好をしている。
A.ずいぶん B.どうにか C.まったく D.いかにも
46. こんなにたくさんケーキを一人だけでは____食べ切れない。
A.とうてい B.ようやく C.やっと D.いよいよ
47. 家にばかりいないで、公園へでも行って____か。
A.いきましよう B.いくんです C.くるんです D.きましよう
48. 夏休みの間に、やって____いけない仕事がたくさんある。
A.おかなければ B.みなければ C.しまわなければ D.こなければ

49. 今日のパーティーに、リーさん____バクさんにスミスさんが来ました。
A. か B. に C. だけ D. ばかり
50. 就職する____進学するなり自分の道は自分で決める。
A. たり B. とか C. やら D. なり
51. 自転車で行けばよかった____、バスで行ってかえって時間がかかった。
A. から B. ので C. ものの D. ものを
52. 何も病気はないと思っていた。____そうではなかったのだ。
A. というのは B. ところが C. それで D. しかも
53. 「早く寝なさい。」「____宿題がまだ終わらないのよ。」
A. ところで B. それでは C. だって D. すると
54. 外国へ行って勉強する学生、____留学生が年々増えている。
A. それに B. たとえば C. ちなみに D. すなわち
55. 「山本さんに赤ちゃんが生まれたそうですよ。」「____お祝いしなければなりませんね。」
A. しかし B. そこで C. それなら D. または
56. インスタント・ラーメンだけでなく、ほかの商品、____スナック菓子、清涼飲料水なども日本人に好まれている。
A. つまり B. ところが C. また D. たとえば
57. インクがなくなってきたから____、このペンはとても書きにくいんです。
A. ほど B. か C. きり D. まで
58. 雨が降っているから、傘を____で出かけてはいけません。
A. 持つよう B. 持つそう C. 持たず D. 持たない
59. 誰もやらないので、私が____引き受けることにしました。
A. やむまい B. やまないで C. やむをえず D. やむをえないで
60. 彼女はまだ外国へ行ったことがない。____国内旅行もほとんどしていない。
A. そのなのに B. それどころか C. または D. ないしは

Ⅲ. 読解 (41 点)

次の文を読んで後の問題に答えなさい。

(一) (10 点)

「世界」というとき、いま新聞やテレビで報道されている世界各国の状態を私たちはつい、世界と覚えてしまいがちです。それは世界の現在の姿の一面であるにちがひありません。①コミュニケーションの発達によって、私たちは、以前の日本人にくらべて、どれほど世界に近くなったかしれません。

[1] 世界各国への旅行が以前よりずっと楽になりました。夏休みに国際線の(注)ジャンボ機にのると、団体旅行や若者の外国旅行客の多いことに驚きます。ヨーロッパやアジアの国ぐにに向かうとき、日本人の団体旅行グループに出会わないほうがまれなほどです。こうした現象は、戦前は考えられないことでした。

世界の情報が豊富に流され、また、外国旅行が手軽になってきたこんにち、表面の現象に接しただけで世界を理解したと考える危険性があるのではないのでしょうか。

ヨーロッパのある都市で、数年前まで、ユネスコの研究所長をしていた友人が、こんなことを話してくれました。夏休みにはジャンボ機で日本の若者が大勢やって来る。その国の言葉も話せず、歴史や文化もよくは知らないで、表面的な見物と買物だけをすませると②「ヨーロッパはもうわかった。」といって帰っていく。何年もヨーロッパにいながら、それぞれの国の人のものの考え方や心の底にあるものを本当に理解することは、なんとむずかしいことかと自分は思い悩んでいるのに——と。

世界を本当に知るということはたいへんむずかしいことです。そのむずかしさを自覚することがまず大切なことだと思います。

しかし、それと同時に、一人の旅行者としての接触であろうと、私たちが他国を訪れ、他国の人びとに出会うことは、「百聞は一見にしかず」のことわざが示す通り、非常に重要なことです。

その出会いの経験を通して、国や人びとのかかえている問題、さらにその国と自分の国とのかんけいを考えるきっかけをあたえられることがしばしばあるからです。③こうしたきっかけから、他国の文化やその歴史について、もっと知りたいという関心がよびさまされ、あらためて勉強することになるでしょうし、何年もかけて問いつづ

け、また、負っていかねばならない宿題を投げかけられることもあるからです。

注 ジャンボ機 [ジャンボき]: 巨型噴気客机

[問題]

61. 文中の下線①「コミュニケーション」は具体的には何をさすか、A～Dの中から一つ選びなさい。

- A. 新聞やテレビ
 B. 世界の現在の姿
 C. 国際線のジャンボ機
 D. 若者の外国旅行客
62. 文中の〔1〕に入れるものをA～Dの中から一つ選びなさい。
 A. しかし B. あるいは C. また D. つまり
63. 文中の下線②「ヨーロッパはもうわかった」と言った人は本当にヨーロッパがわかったか、A～Dの中から適当なものを一つ選びなさい。
 A. わかった
 B. わからない
 C. どちらともいえない
 D. 最初はわからなかったが、やっとわかるようになった
64. 文中の下線③「こうした」とは何をさすか、A～Dの中から一つ選びなさい。
 A. 出会いの経験
 B. 国や人びととのかかえている問題、さらにその国と自分の国との関係を考える（きっかけ）
 C. あたえられた（きっかけ）
 D. 他国の文化やその歴史
65. この文章で作者が一番言いたいことをA～Dの中から一つ選びなさい。
 A. 新聞やテレビは、世界中のあらゆる姿を正確に伝えてくれる。
 B. 私たちは新聞やテレビの報道を見たり、外国旅行で表面的な見物だけして世界をわかったつもりになることがある。
 C. 世界を知ることは非常に重要なことである。
 D. 日本の若者のヨーロッパ旅行は、表面的な見物だけで帰って行くので、まったくむだである。

（二） （10 点）

このせまい日本はもとより、世界の各地で、環境に関するいろいろの問題が生じている。①これは、一見、明らかに客観的な問題のようにも見える。

しかし、たとえば、ゴミすて場が住宅の近くにあり、腐敗し、悪臭を放っているとしたら、それはだれにとっても耐えがたい環境である。だが、これは、あくまでも人間にとってそうなのであって、そこに集まってくるネズミやカラスやミミズにとっては、この上ない環境というべきであろう。

このようにわれわれが常識的に考えている環境というものは、われわれ人間にとってのそれであり、②ネズミにとっての環境だの、ゴキブリにとっての環境だのを考えることなどはない。むしろ、それらの存在自体が、環境としては都合の悪いものであるから、これらを身辺から根絶することを考える。薬品やら道具やらを使って殺そうと

する。人間にとって、それは当然のことだ。しかしながら、駆除される生物にとってはたいへんなことで、かれらの種の破滅に通じるものであるかもしれない。

環境というものは、結局、客観的に存在するものではなく、それとかわりをもつ主体との関係で存在するものであり、主体が関係してくる以上環境に関する問題は、[1] の問題と切り離すことはできなくなる。しかも、価値に関しては、人間同士でもいろいろと違った考え方があり、そこからそれぞれの行動が生じるのだから、この問題は、人間と他の生物との間のものだけではなく、人間同士のものにもなる。

人間は、今まで、人間としての価値観をもとにしてあれこれと判断し、環境を変えてきた。そこには合理的な判断もあっただろうが、人間のことだけを考えた利己的で非合理的なものも多かったはずだ。人間の環境に対する態度は、しばしば大きく変わり、一定していない。

しかし、重要なのは、このような環境問題について考え、処理し、対応してゆく能力は、人間に [2] ないという点である。人間は、他の生物たちを操作し、殺し、追い、自分にとって具合のいい環境に変えてゆく能力を、かなりのところまで持っている。逆に殺されることもあるが、人間ほど他の生物に影響をあたえることのできるものはいないのである。

したがって、われわれは [3]。

[問題]

66. 文中の下線①の理由として適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。
 - A. 一般に人間にとっての環境とネズミなどにとっての環境とは違って見えるから。
 - B. 耐えがたい環境とこの上ない環境とは客観的に区別できるものだから。
 - C. たいていの場合、主観的な環境というものは存在しないから。
 - D. 普通は、人間にとっての環境だけを考えるから。
67. 文中の下線②の理由として適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。
 - A. われわれ人間にとって価値があるかどうかをもとにして考えるから。
 - B. ネズミやゴキブリにとっての価値についてはまだわかっていないから。
 - C. 他の生物の価値観を認めてやることはできないから。
 - D. ネズミなどの環境についてはすでにわかっているから。
68. 文中の [1] に入れるものをA~Dの中から一つ選びなさい。

A. 主体	B. 環境	C. 価値	D. 行動
-------	-------	-------	-------
69. 文中の [2] に入れるものをA~Dの中から一つ選びなさい。

A. まで	B. しか	C. さえ	D. だけ
-------	-------	-------	-------
70. 文中の [3] に入れるものをA~Dの中から一つ選びなさい。
 - A. 他の生物にとっての環境ということを考えながら、自分の環境問題に取

り組まなければいけないだろう。

- B. 環境問題を論じるとき、人間以外の視点を持ち出さなければならない。
 C. 人間としての価値をもとにして環境を変えなくてはいけない。
 D. 人間自身の環境だけ考えてよいだろう。

(三) (16点)

外国人に対して自国語の普及を推進するということは、一步まちがうと言国文化のおしつけになりかねないし、文化侵略という非難をうけかねない。戦前の外国における日本語の普及には、二のようなまらいがあった。 現在の状況はとてそんなことではない。 積極的な普及どころか、世界の要望のまえに受け身でたたされて、その需要に応じきれないというのが実情である。

世界のなかの日本語人口が増加すると、日本語はいずれ、ひとりあるまをはじめるだろう。 外国人どうしのコミュニケーションに日本語がつかわれるようになるのである。日本人は日本語を自分たちの所有物であり、私有財産だとおもってきた。日本語をじょうずにあやつる外国人に対しては、なにか、自分たちの聖域をおかされたような気もちをいだくひとがおおいのではないか。 世界において日本語の使用人口が増大すると、そのような私有物感覚では対応できなくなるだろう。日本語は世界人類の共有財産の一部となるのである。日本人は、日本語を人類の共有にゆだねるべくさしだしたのである。ちょうど、柔道が世界的スポーツになったようなものである。柔道の起源は日本に発するが、いまや世界人類の共有するスポーツであって、日本人の独占物ではない。

日本国民の私有物から世界人類の共有財産にうつるとともに、そこではたぶんある程度の改変作用がおこるだろう。柔道が国際化するとともに、体重別の制度が導入されたように、日本語も国際化とともに、なんらかのルールの変革がおこる可能性がある。たとえば、敬語が現状のままでおこなわれるかどうかには疑問がある。それはそれでよいのではないか。

国際化とともに、日本人には聞きなれない奇妙な表現が外国人の日本語の中にあらわれてきてもふしぎではない。ときには、かなり聞きぐるしいこともでてくるであろう。わたしはそれを「おぞましい日本語」といっている。日本人はそのような「おぞましい日本語」をきくことにたえなければならぬのである。わたしたちのつかう英語は、おそらくはイギリス人には「おぞましい英語」であろう。イギリス人は、世界でおこなわれている「おぞましい英語」にたえて、それを寛容にみとめているのである。言語の国際化とはそういうものである。

現在、国際語とかがえられている言語は、いずれも、こういう試練をうけて発達してきたものであろう。英語なども国際化とともに、かなりかわってきたものらしい。外国人の手による改変とともに、イギリス人自身が外国人にわかりやすいものにしようと努力して、つくりかえたところがすくなくないようである。日本語もその過程をへるのではないか。

〔問題〕

71. ①「そのようなきらいがあった」とは、どういう意味か。
- A 外国人に非難されたりきられる場合があった。
 - B 外国との戦争という悲しい過去の事実があった。
 - C 自分の文化を無理やりおしつける傾向があった。
 - D 日本語を世界に広めるための着実な一歩があった。
72. ②「現在の状況はとてろんなことではない」とあるが、現在はどういう状況なのか。
- A 積極的に世界の要望を受けとめて需要に応じようとしている。
 - B 外国からの非難を積極的に受けとめ、心からそれに応えようとしている。
 - C 戦前の文化侵略の反省から日本語の普及には消極的になっている。
 - D 世界の日本語に対する需要の方が大きすぎて十分に対応できないでいる。
73. ③「ひとりあるきをはじめる」というのは、ここでは具体的にどういうことか。
- A 外国人どうしても日本語で話すようになるということ。
 - B 世界に受け入れられる洗練された言語になるということ。
 - C 英語に代わって共通語になるかもしれないということ。
 - D 日本人にその良さを忘れ去られていってしまうということ。
74. ④「自分たちの聖域をおかされたような気持ちをいだく」のはなぜか。
- A 日本語は世界人類の共有財産だと考えるから。
 - B 日本語は日本人だけの物であると考えから。
 - C 日本語は英語とはまったく質の違う言語だと考えるから。
 - D 語学は柔道のようなスポーツの場合とは異なると考えるから。
75. ⑤「それはそれでよいのではないか」とあるが、何がよいのか。
- A 柔道や日本語が国際化されること。
 - B 日本語から敬語というものが消えてしまうこと。
 - C 日本語に改変作用が起こるかもしれないこと。
 - D 柔道や日本語の新しい制度やルールに疑問を持つこと。
76. ⑥「おぞましい日本語」というのは、どんな日本語を指して言っているのか。
- A 日本人なら使わないような変な言い回しの日本語。
 - B 国際化された新しい文法による日本語。
 - C 発音のはっきりしない外国人の話す日本語。
 - D 日本語の違者な外国人が話す日本語。

77. ⑦「こういう試験」とは、どういう試験か。
- A. どうすれば日本語が国際化できるか研究すること。
 - B. 外国人の話す自国語にたえて、寛容にみとめること。
 - C. イギリス人のおこなってきたことをよく理解すること。
 - D. 聖域をおかされぬよう日本語に対する意識を強くすること。

78. 日本語についての筆者の考えは次のうちどれか。
- A. 日本語が聞きぐるしい奇妙な言語となっていくのは好ましい傾向である。
 - B. 日本語は日本人にとって聖域であるから、外国人におかされるのはたえられない。
 - C. 日本語は英語と違って、世界に通用する言語になることはのぞめないだろう。
 - D. 日本語も英語のように国際化できるよう、日本人はもっと自覚を持つべきだ。

(四) (5点)

①幸運は、いつものように、何度も何度も用心深く逃げていき、それから特別、(注)土用の暑さでわたしをしっかりと傷めつけたあとで、とうとうわたしのしんぼうにはほえんでくれた。②中の一匹はたぶん、長い間の絶食で殺気だっていたのであろう。いきなり巣穴からとび出してくるのだ。びんのおおいの下で起こった悲劇は、一瞬の間しか続かない。もうすんだのだ。ただけしいクマバチは死んでいる。どこを刺されて殺されたのだろうか。よく調べるのはわけないことだ。ドクグモは、まだそのままでの姿勢でいるのだから。きばは、首の後ろ、首のつけねに刺さるのだ。殺し手は、③きっとわたしもそうと思っていた、あの④奥の手を知っていたのだ。彼は、いちばんの命とりの急所であるハチの脳神経節をねらって、その毒のきばで刺したのだ。傷をつければたちまちに殺すことのできるただ一つの点を、クモははげしくかむのだ。わたしはクモのこのハチ殺しの腕まえに感心した。わたしの⑤体じゅうが日に焼けたことなんか、それで償われたというものだ。

注 土用〔どよう〕: 伏天、暑伏

クマバチ: 黄蜂、蚂蜂

ドクグモ: 毒蜘蛛

〔問題〕

79. 文中の下線①「幸運」とは何のことか、A～Dの中から一つ選びなさい。
- A. 長い間の絶食のあと、やっと食物にありついたこと。
 - B. クマバチをびんの中で捕えることができたこと。
 - C. 土用の暑さがすんで、日焼けしなくすんだこと。
 - D. クモのハチ殺しの現場を観察しえたこと。

80. 文中の下線②「中の一匹」とあるが、何の中の一匹か、A～Dの中から一つ選びなさい。
 A. 絶食中の B. びんの中の C. クマバチの D. ドクグモの
81. 文中の下線③「きっとわたしもそうと思っていた」とあるが、何をそう思っていたのか、A～Dの中から一つ選びなさい。
 A. ドクグモは腕まえのいい殺し手にちがいない。
 B. ドクグモは長い間の絶食で殺気だっている。
 C. クマバチの悲劇は一瞬の間しか続かない。
 D. ドクグモはハチの急所の首のつけねを刺す。
82. 文中の下線④「奥の手」と同じ意味に使われているものをA～Dの中から一つ選びなさい。
 A. 行く手に遠く山を見た
 B. 二度とその手はくわないぞ
 C. 灯油が手に入らない
 D. ねこの手も借りたいほど忙しい
83. 文中の下線⑤「体じゅうが日に焼けた」のはなぜか、その理由をA～Dの中から一つ選びなさい。
 A. 土用の暑さの中で、クモがハチを殺す様子を観察しようと、しんほうを続けたから
 B. 土用の暑さの中で、ハチがクモを殺す様子を観察しようと我慢をしたから
 C. ハチの一匹が長い間絶食して巣穴からとび出してきたから。
 D. ドクグモはそのままの姿勢でいるのだから

IV. 翻译 (13.点)

次の_____の部分を中国語に訳しなさい。

(一) (6点)

夜中に電話がなる。はっと思って、とび起きる。誰からだろう、こんな夜中に。

84. 「もしもし……」。受話器の向こうからは何の答えもない。ただ誰かが息をひそめて受話器に耳をあてている気配だけを感じる。またしても、いたずら電話だ。

すっかり目がさめでしまい、再び心地よい熟睡の世界にもどるのは難しい。

こんな時間に、無言の電話をかけるなんて、いったい何を考えているのだろう。どこか都会のかたすみで、話し合う相手もないさびしい人なのだろうか。

いたずら電話に悩まされ、NTTに相談する人が急増しているという。1年間に12万2000件とのことだから、たいへんな件数だ。その内容は、無言6割、わいせつ1割、そのほかイヤミや皮肉など。これは相談した人の件数だから、私のように安眠をさまたげられたことに多少腹を立てながらも、だまっている人の場合をふくめれば、いたずら電話の数はもっとずっと多いに違いない。

電話はコミュニケーションには欠くことのできない道具だ。現在、日本で使用されている電話機数は約5200万台、公衆電話だけでも約83万台（平成元年度末）もある。

85. 以前は、手紙を書いたり、会って話し合っていたことでも、最近は電話ですませてしまうことが多い。それだけ、私たちの日常生活はあわただしくなっているということだろう。

しかし、その反面、若者たちの長電話もふえている。NTTの調査によると、中・高生の1回当たりの通話時間は平均14分、なかには6時間も電話で話している人までいるそうだ。何をそんなに話すことがあるのだろうか。彼らの電話の通話相手の9割が同性ということだが。

「えっ、別にこれといって話があるわけじゃないんですけど……。何だか長くなっちゃうんですね」と、ある女子学生は言う。何か内容のある話をするというよりも、ただ相手と声のキャッチボールを楽しめればよい、という感じなのだろうか。電話は、相手とのスキップの代理になっているのだろう。

86. 人間なら誰でも人との触れ合いを求める。たとえ相手の顔が見えなくても、電話線の向こうに誰がいることで安心する。真夜中のいたずら電話にしても、孤独で、やりきれない思いの人が、電話線の向こうに切なく人とのぬくもりを求めているのかもしれない。

だからと言って、いたずら電話の話し相手になってあげよう、とは思わないが。

(二)(7点)

わが家の北側の窓からは、盆地を囲むなだらかな山々がのぞめる。山々の緑のさまざまな色合いや、夕焼けや宵闇の中の山々の輪郭は、いつ見ても飽きない。

しかし、最近はその楽しみが半減した。宵闇の中の山の輪郭がぼやけてしまったのである。山の斜面にあるゴルフ場がナイターを始め、夜になると照明をこうこうと照らして、あたり一面の闇を追いはらってしまったからだ。

87. もっとも、電灯の普及によって、われわれの生活には、まったくの闇はすでにない。都市の夜道は、街灯や家々の明かりによって、真っ暗ではない。

88. 以前、人里離れた夜道を、新月のときに歩いたことがある。そのとき、「あ、これが暗闇というものか」と、体の底から納得した。都市で生まれ育った者にとっては、貴重な経験だった。

そのときほどの完全な闇ではないが、都市の生活でも、以前は、時々、闇と出会うこともあった。町中が停電してしまうときなどがそうである。停電の暗闇の中で、ろうそくのほのかな明かりがとてまたのもしく思えたものである。停電という、いやおうなしの闇の中で、われわれは闇の根源的な力、不思議な懐かしさをほのかに感じたりもした。

今、町は深夜になっても何らかの光によってほの明るい。ナイター・ゴルフ場の異様な明るさ以外にも、24時間営業のコンビニエンス・ストアはこうこうとした照明をドアからあふれさせている。89.ヨーロッパの都市にならって、閉店後もショーウィンドーを明るくしておく店がふえたし、街路や建築の夜間照明などもさかんだ。夜の町はますます明るくなっている。

90. しかし、町は明るければ明るいほどよい、というものではないだろう。夜の闇を確保しておくことには、単なる省エネルギーという効果だけではない、もっと奥深い意味があるように思える。